

## 肉用牛広域後代検定推進事業

藤森祐紀<sup>1)</sup>・垺和靖俊・吉澤武康<sup>2)</sup>・木村安之

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yuuki FUJIMORI, Yasutoshi HAGA, Takeyasu YOSHIKAWA and Yasuyuki KIMURA

### 要 約

指定交配により生産された黒毛和種雄子牛2頭について、(社)全国和牛登録協会が定める産肉能力検定直接法に基づき検定を実施した。検定の結果は、1日平均増体量の平均が1.36kgで、発育判定3以上を示したものは2頭であった。審査の結果2頭を選抜した。

キーワード：和牛，種雄牛，直接検定，改良

### 緒 言

肉用牛の改良を図るため、優れた種雄牛を選抜することを目的に、肉用牛広域後代検定推進事業により選定された基礎雌牛から、指定交配により生産された雄子牛2頭を選抜し、(社)全国和牛登録協会が定めた産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

### 材料および方法

1. 供試牛  
茨城県肉用牛広域後代検定推進事業で選定した基礎雌牛から、指定交配により生産された雄子牛2頭。  
菊美6 (父：福栄，母：きくみ3)  
森鈴5274 (父：勝忠平，母：もりすず527)
2. 検定期間  
産肉能力検定直接法に基づき112日間とし、「菊美6」は232日齢から、「森鈴5274」は208日齢から検定を実施した。また、検定開始前20日間を予備飼育期間に充てた。
3. 飼養管理  
牛舎は舎内10.7m<sup>2</sup>に11.2m<sup>2</sup>の運動場を併設した単房式で、給水はウォーターカップにより、給塩は鉋塩を用いて自由摂取させた。  
敷料はおがくずを使用し、牛床の清掃は毎日実施した。また、削蹄は適宜実施した。飼料は産肉能力検定(直接法)用配合飼料を体重比1.3%給与した。

併せてチモシーの乾草を草架から自由採食させた。

### 4. 調査事項

体重測定は2週間毎、体各部の測定は4週間毎に実施し、開始時と終了時に体型評価を行った。

飼料摂取量は毎日調査し、摂取養分量は「日本標準飼料成分表」2000年度版より算出した。

### 結 果

1. 検定を終了した2頭の成績は表のとおりである。
  - 1) 1日平均増体量は、「菊美6」が1.27 kg/日、「森鈴5274」が1.45 kg/日で平均は1.36kg/日であった。
  - 2) (社)全国和牛登録協会が定めた体高値による発育判定は「菊美6」が4、「森鈴5274」が3であった。
2. 茨城県肉用牛育種改良推進協議会専門部会で審査した結果、検定を終了した「菊美6」及び「森鈴5274」を選抜した。

1)：現長野県職員 2)：退職

整理番号		345	346
名号		菊美6	森鈴5274
登記記号番号		2008子茨黒1215173077	2009子茨黒1249516956
生年月日		H20.7.1	H21.3.27
生時体重			
父		福栄	勝忠平
母		きくみ3	もりすず527
検定開始年月日		H21.2.18	H21.10.21
開始時日齢(日)		232	208
開始時体重(kg)		273	212
開始時体高(cm)		116.2	107.0
検定終了年月日		H21.6.10	H22.2.10
終了時体重(kg)		415.0	374.0
終了時体高(cm)		125.6	121.0
1日平均増体量(kg/日)		1.27	1.45
終了時審査得点(点)		83.9	82.3
365日齢補正体重(kg)		441.7	439.0
余剰濃厚飼料摂取量(kg)		101	59
余剰粗飼料摂取量(kg)		46	47
余剰TDN摂取量(kg)		97	67
粗飼料摂取率(%)		50.0	50.0
期待育種価順位	枝肉重量	2	1
	ロース芯面積	2	1
	脂肪交雑	2	1
発育		4	3
終了時体型特徴	優点	発育	体上線
		体積	被毛
	欠点	乳徴	腿
		尻の形状	乳器
選抜の有無		選抜	選抜